

尼崎市総合計画審議会第3分科会資料
資料第1号 - 1
平成29年3月30日

後期まちづくり基本計画の策定について

尼崎市

後期まちづくり基本計画の策定について

(尼崎市総合計画審議会・分科会資料)

平成29年3月

尼崎市 ひと咲きまち咲き推進部 政策課

後期まちづくり基本計画策定検討のイメージ

尼崎市総合計画

一定期間変わることのないまちづくりの方向を示すもの... **変更しない**

まちづくり構想 (H25~H34)

前期まちづくり基本計画 (H25~H29)

盛り込む要素
前期計画のいい部分は残す
施策評価を踏まえた修正

後期まちづくり基本計画 (H30~H34)

総合戦略の位置づけ

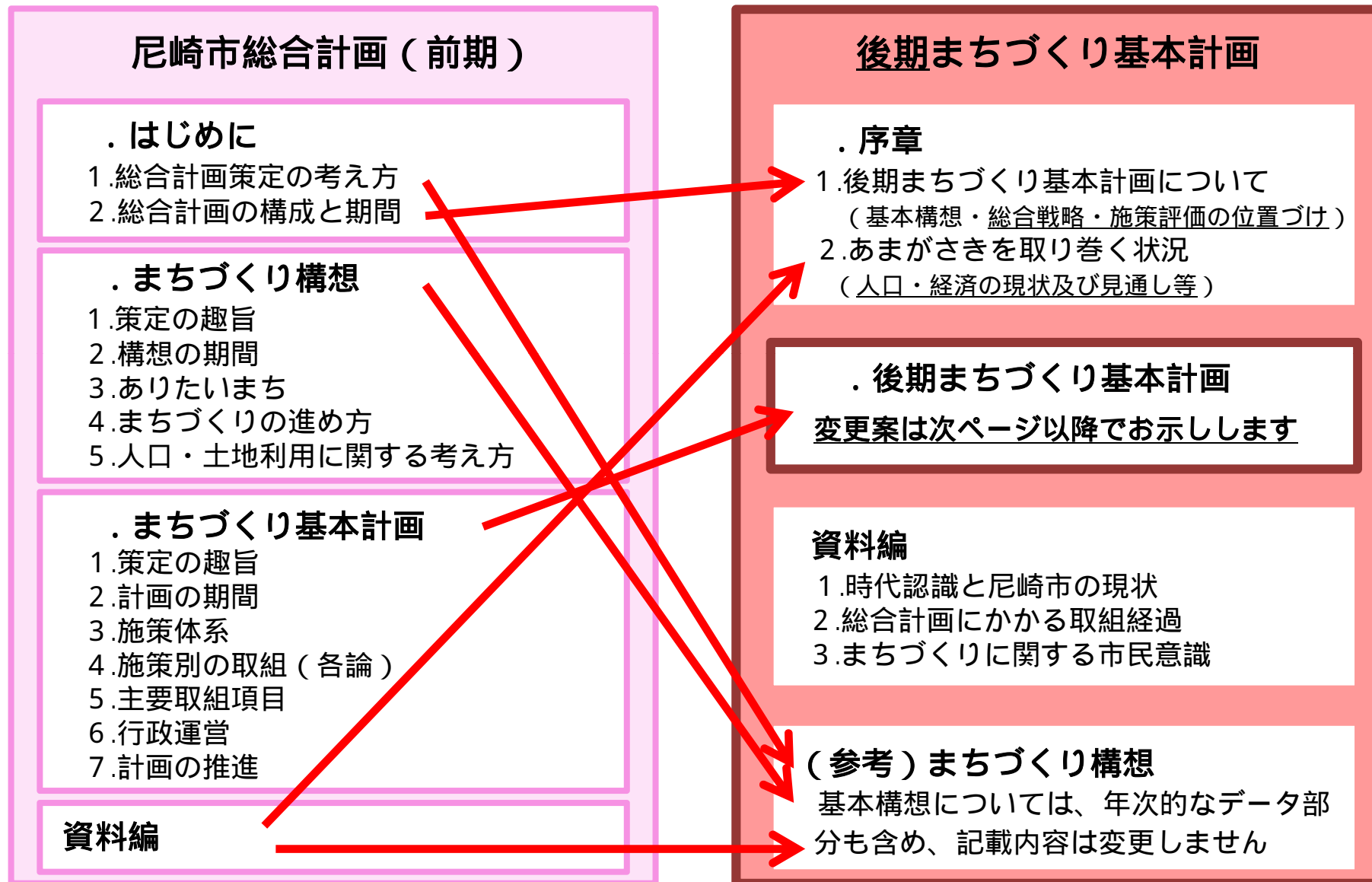
尼崎版総合戦略 (H27~H31)

地方創生の取組として策定

尼崎人口ビジョン (H22~H72)

後期まちづくり基本計画の骨格

後期まちづくり基本計画冊子の構成（案）



後期まちづくり基本計画の構成（案）

基本計画部分についても、原則は前期計画を踏襲します
詳細につきましては、次回以降お示しします

・まちづくり基本計画（前期計画）

1. 策定の主旨（P24）

- (1) 施策の方向性を示す
- (2) 各主体の役割についての考え方を示す
- (3) 計画の進め方を示す

2. 計画の期間（P24）

3. 施策体系（P25）

- (1) マトリックス型の施策体系
- (2) 施策間の連携
- (3) 施策の概要

(4) 施策ネットワークのイメージ

・後期まちづくり基本計画

1. 策定の趣旨 2. 計画期間 3. 施策体系

基本構想は変更しないため、基本的に文言の微修正に留める

3. (4) 施策ネットワークのイメージ 【修正】

前期計画策定以降、「自治条例の推進」や「観光地域づくり」など組織を越えて取り組む事業が立ち上がっている。

後期計画期間中の重点化事業を中心に、施策のリンクを示し、計画期間中に組織横断で取り組む将来像を示す。

【検討事項】

施策体系マトリックスに代わるもの

本分科会で議論いただくパート

4. 施策別の取組（各論）

【修正】

4 . 施策別の取組（各論）

（P33）

- （1）各論の構成（施策の見方）
- （2）施策ごとの取組（20施策）

5 . 主要取組項目（P75）

- （1）主要取組項目について
- （2）主要取組項目の取り扱い
- （3）主要取組項目に関する施策間の連携

6 . 行政運営（P79）

- （1）ともにまちづくりを進めるために
- （2）市民生活を支え続けるために
- （3）行政運営の実行力を高めていくために

7 . 計画の推進（P81）

- （1）施策の評価
- （2）施策の重点化等

施策評価、総合戦略を踏まえて枠組を再編
（20施策56展開方向 17施策51展開方向へ）
（詳細は次ページ）
指標は目標値を設け、展開方向につき1つ設定

5 . 主要取組項目

【修正】

○総合戦略の「6つの政策分野」を「4つのありたいまち」と関連づける。
施策ネットワーク図に示す重点化事業を主要取組項目に位置づけていく。

【検討事項】

「施策ネットワーク図」と併せて検討

6 . 行政運営

【修正】

具体的な目標数値を設定し、PDCA：施策評価等を意識。
ファシリティマネジメントなど、新たな視点も追加

【検討事項】

「施策ネットワーク図」と併せて検討

7 . 計画の推進

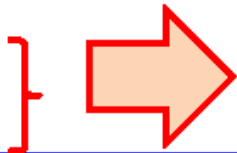
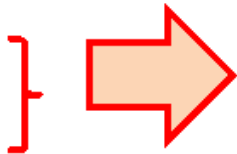
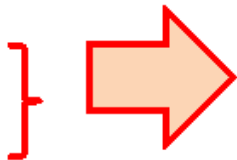
【修正】

施策評価を実施してきた経過を踏まえ、修正

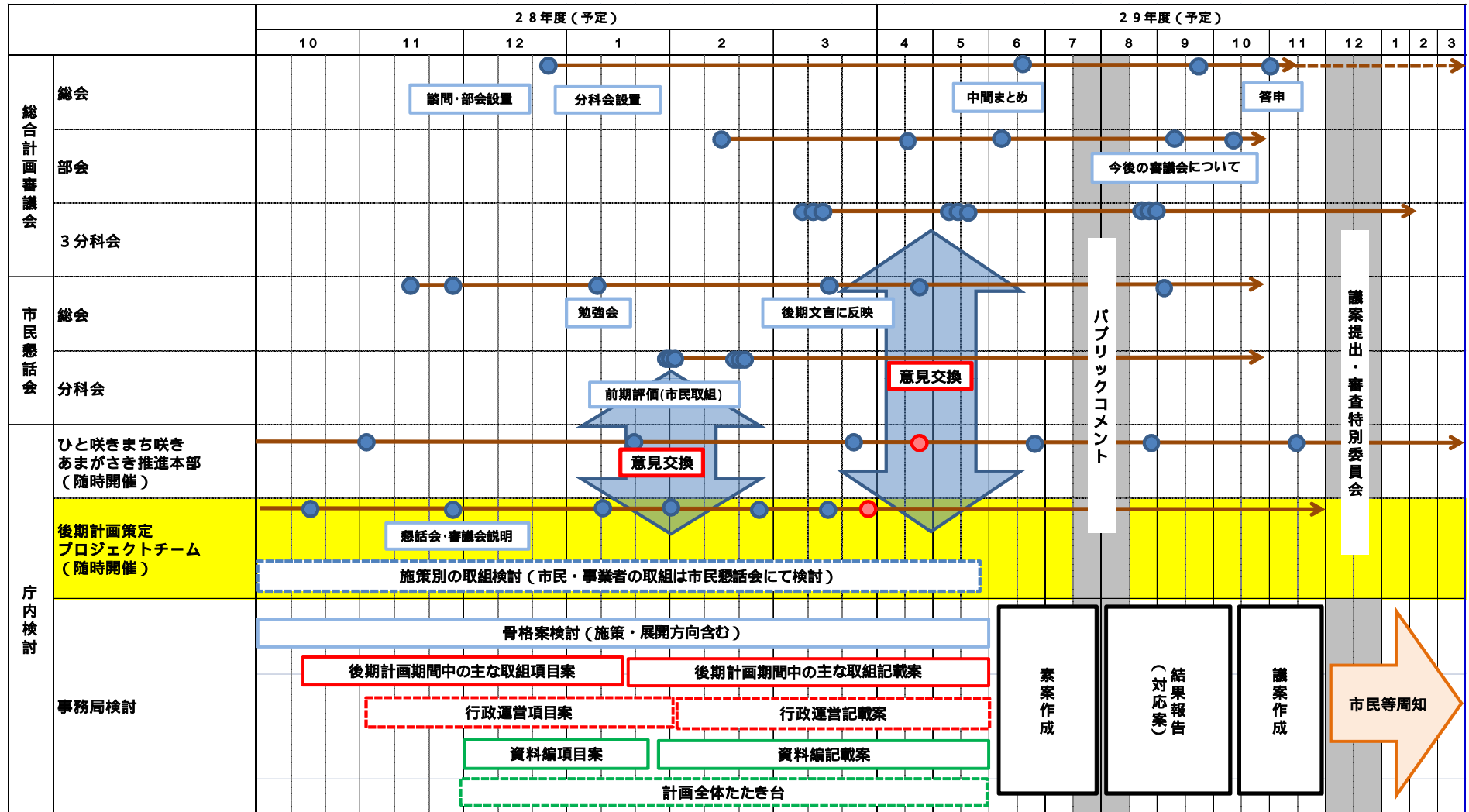
施策別の取組（各論）の修正案

施策10と11、14と15、19と20を統合し、17施策へ

前期計画			後期計画（案）		
1	【地域コミュニティ】	第1分科会	1	【地域コミュニティ】	第1分科会
2	【生涯学習】	第3分科会	2	【生涯学習】	第3分科会
3	【学校教育】	第3分科会	3	【学校教育】	第3分科会
4	【子ども・子育て支援】	第3分科会	4	【子ども・子育て支援】	第3分科会
5	【人権尊重】	第3分科会	5	【人権尊重・多文化共生】	第3分科会
6	【地域福祉】	第1分科会	6	【地域福祉】	第1分科会
7	【高齢者支援】	第1分科会	7	【高齢者支援】	第1分科会
8	【障害者支援】	第1分科会	8	【障害者支援】	第1分科会
9	【生活支援】	第1分科会	9	【生活支援】	第1分科会
10	【医療保険・年金】	第1分科会	10	【健康支援】	第1分科会
11	【地域保健】	第1分科会			
12	【消防・防災】	第2分科会	11	【消防・防災】	第2分科会
13	【生活安全】	第3分科会	12	【生活安全】	第3分科会
14	【就労支援】	第2分科会	13	【地域経済の活性化・雇用就労支援】	第2分科会
15	【地域経済の活性化】	第2分科会			
16	【文化・交流】	第3分科会	14	【魅力創造・発信】	第3分科会
17	【地域の歴史】	第3分科会	15	【地域の歴史】	第3分科会
18	【環境保全・創造】	第2分科会	16	【環境保全・創造】	第2分科会
19	【住環境】	第2分科会	17	【住環境・都市機能】	第2分科会
20	【都市基盤】	第2分科会			

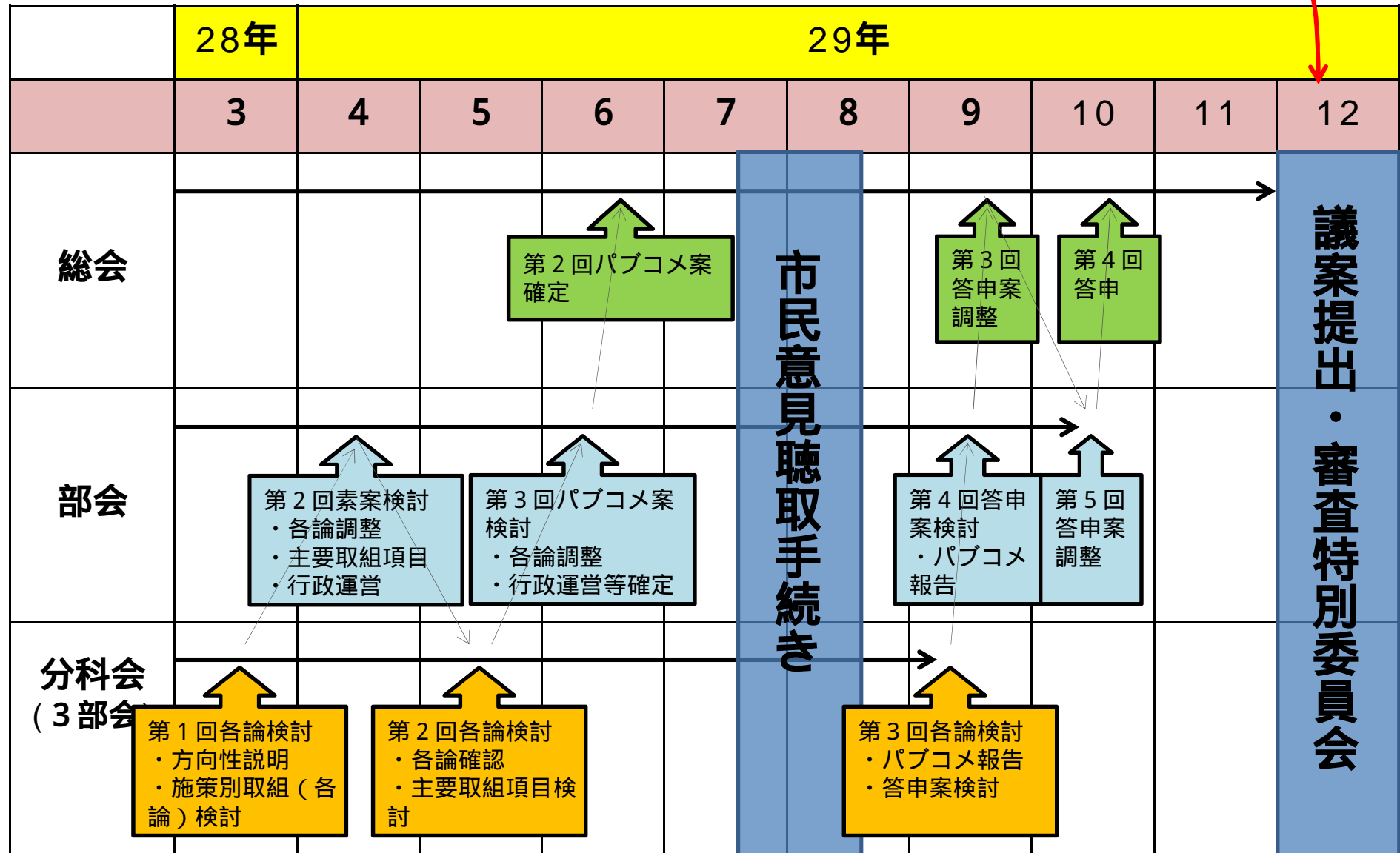


後期まちづくり基本計画策定スケジュール（案）

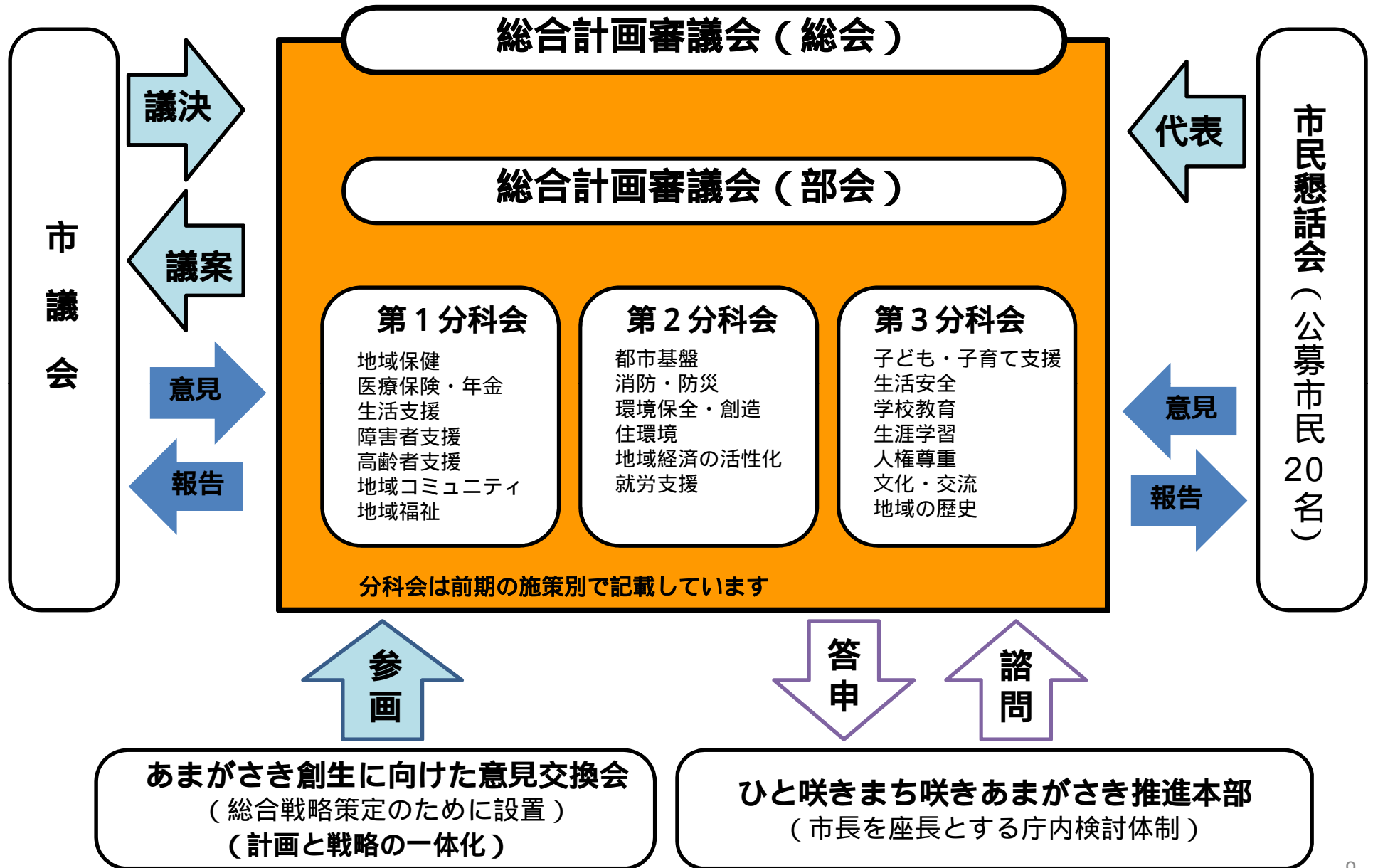


今後の総合計画審議会スケジュール（詳細版）

平成29年12月議会に議案を提出予定



総合計画審議会の運営体制



総合計画審議会（総会）

【役割】

- 総合計画に関する重要な事項について、市長の諮問に応じ、調査審議する
- 最終の意思決定機関

【人数】

- 22人（大学教授など8名、総合戦略有識者会議6名、市議会議員6名、市民懇話会委員2名）

【開催予定回数】

- 3回（うち、1回は開催済み）

総合計画審議会（部会）

【役割】

- ・ 総会に諮る素案等の作成
- ・ 各分科会間の意見調整

【人数】

- ・ 8人
- ・ 審議会メンバーのうち、今後本市が特に注力していく分野（児童福祉、高齢福祉、経済、学校教育、社会教育、子ども・子育て、地域コミュニティ、都市防災）の専門家

【開催予定回数】

- ・ 5回（うち、1回は開催済み）

総合計画審議会（分科会）

【役割】

- ・ 施策別の取組（各論）について審議
- ・ 3つの分科会で6～7施策を担当

分科会が受け持つ施策分野

- 第1分科会（コミュニティ、保健・福祉、生活支援）
- 第2分科会（経済・就労、都市、消防・防災、環境）
- 第3分科会（教育、子育て、人権、安全、歴史・文化・交流）

【人数】

- ・ 6～7人/分科会

【開催予定回数】

- ・ 3回

総合計画審議会（第1分科会）

第1分科会 （3/21予定）			
【担当施策】「01 地域コミュニティ」、「06 地域福祉」、「07 高齢者支援」、「08 障害者支援」、「09 生活支援」、「10 医療保険・年金」、「11 地域保健」			
種別	氏名	現職等	備考
学識経験者	稲垣 由子	甲南女子大学 人間科学部子ども学科 教授	地域保健
学識経験者	梅谷 進康	桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 准教授	地域福祉
学識経験者	久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授	地域コミュニティ
総合戦略	川野 昌文	尼崎労働者福祉協議会 代表	労働団体代表
市議会議員	徳田 稔	尼崎市議会議員（日本共産党議員団）	
公募市民	原田 明	尼崎市総合計画市民懇話会	

総合計画審議会（第2分科会）

第2分科会 (3/9予定)			
【担当施策】「12 消防・防災」、「14 就労支援」、「15 地域経済の活性化」、「18 環境保全・創造」、「19 住環境」、「20 都市基盤」			
種別	氏名	現職等	備考
学識経験者	加藤 恵正	兵庫県立大学 政策科学研究所 教授	都市・地域経済政策
学識経験者	紅谷 昇平	兵庫県立大学 防災教育研究センター 准教授	都市再生、防災
総合戦略	島田 力	尼崎商工会議所 理事・事務局長	産業界代表
総合戦略	和田 敦裕	尼崎信用金庫 地域支援部長	金融機関代表
市議会議員	安田 雄策	尼崎市議会議員（公明党）	
市議会議員	須田 和	尼崎市議会議員（緑のかけはし）	
市議会議員	明見 孝一郎	尼崎市議会議員（市民グリーンクラブ）	

総合計画審議会（第3分科会）

第3分科会 （3/30予定）			
【担当施策】「02 生涯学習」、「03 学校教育」、「04 子ども・子育て支援」、「05 人権尊重」、「13 生活安全」、「16 文化・交流」、「17 地域の歴史」			
種別	氏名	現職等	備考
学識経験者	川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表 立命館大学他 非常勤講師	学校教育
学識経験者	佐藤 智子	東北大学 高度教養教育・学 生支援機構 准教授	社会教育
学識経験者	瀧川 光治	大阪総合保育大学 児童保育 学部 教授	子ども・子育て 支援
総合戦略	梶岡 修一	株式会社神戸新聞社 経営企 画室長	メディア代表
総合戦略	川島 明子	園田学園女子大学 学長	教育機関代表
市議会議員	長崎 寛親	尼崎市議会議員（維新の会）	
公募市民	尾藤 百合	尼崎市総合計画市民懇話会	

(参考) 市民懇話会

【役割】

- ・異なる立場の市民、事業者、行政が課題を共有し、連携しながら、それぞれの特性を活かし、ともにまちづくりを進めていくことを目指しており、多様な市民が「後期まちづくり基本計画」の策定過程に関わり、まちの課題を知り、ともに市政を考え、行動に繋がる機会となることを目指すもの
- ・総合計画や財政について説明を受けたあと、財政シミュレーションゲームSIM2030を体験（第1回、第2回）
- ・3つの分科会に分かれて、若手市職員とともに施策別の取組（各論）部分の「市民・事業者が取り組むこと」について、5年間の実績を評価（第3回～第8回）

【人数】

- ・20人（市民・事業者など）

【開催予定回数】

- ・13回（第8回まで実施済み）

